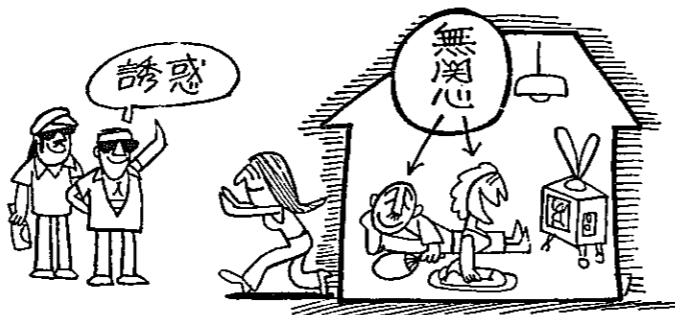




子どもについての悩みは  
家庭児童相談室へ  
お気軽に福祉事務所家庭児  
童相談室(☎二〇六)を、ご  
利用ください。  
相談時間は午前九時から午  
後五時まで(土曜日は正午ま  
で)です。  
なお、連絡があれば、各家  
庭へも相談員がうかがいます  
■相談員 旧村部担当 安藤  
録衛 旧町部担当 黒部里海



学職別には高校生が最も多く、  
次いで有職少年、中学生、その他  
の学生、無職少年、小学生の順と  
なっています。  
ここで注目されることは、十一  
歳から十六歳が全体の五四%も占



「すばらしい青春」

### 多い窃盗犯

めるなど、非行の低年齢化がめだ  
つています。

このような非行の特徴としては  
動機が単純で、罪意識の薄い「遊  
び型」が増え続けていることです  
「盗み」が男子の約八割、女子  
の九割以上を占めていることが、  
その傾向を裏づけています。  
カッコいいことを求め、スカッ  
とすることを探すが青少年です  
みんなこれを求め、平凡でない  
俗っぽいことをやって、みん  
なをアツといわせようとするので  
す。  
このエネルギーをもっとましな  
方法で放出できるように、私たち  
大人は指導していかねばなりません。

# 夏休みは『非行の季節』

## 解放感と気のゆるみから

夏休み期間中は、規則正しい学  
校生活から「解放」されて、子ど  
もたちの生活リズムも乱れがちで  
す。  
少年非行の多くは、この長い休

みの間に芽ばえ、育ち、秋の新学  
期のころには、学校きらいや家出  
さらには盗み、傷害といった本格  
的な非行の道を歩み始めることに  
なります。

7月は「社会を明るくする運動」  
が行われます。今回の重点目標は  
“地域活動の推進による青少年の  
非行防止”です。

最近の少年非行は、万引や自転  
車などの窃盗、シンナー遊び、性  
的非行など刺激的、享乐的な動機  
によるものが多いのが特徴です。

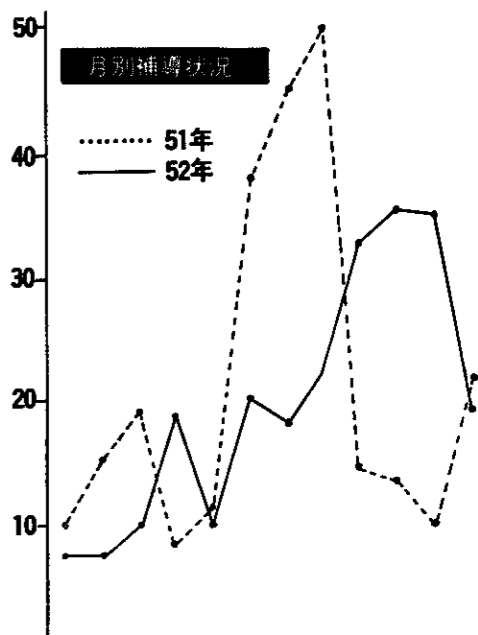
こうした傾向に歯止めをかける  
ため、市民みんなが共に手をたず  
さえて、非行の防止活動に取り組  
みましょう。

何かを求めてボールに食いつく—汗と泥にまみれ

### 十一歳〜十六歳は 危険な年齢

昨年白根警察管内で起きた少  
年非行の状況を見ると、二百七十  
四人が補導されました。  
このうち、飲酒や喫煙などいわ  
ゆる「ぐ犯、不良行為」は一昨年  
より減っていますが、逆に窃盗、  
傷害などの「形法犯」を犯す少年  
が十四人も増えています。

少年自身の解放感と気のゆるみ  
に加えて、「休みの間ぐらいい」と  
か「家の子に限って……」といっ  
た家庭の甘やかしが、とくに夏休  
みに非行が増える原因となってい  
ます。



### 社会を明るくする運動

市中パレード  
皆さんもこそって参加を!

- とき 7月15日 午後1時から
- コース 白小→須藤小路→四の町  
→中沢小路→新町通り→  
→白小

雨天の場合は厚生会館で、白小鼓笛隊の演奏会。



## 規則正しい生活を ほしい家族で話し合う機会

そのためには、家族全員が規則  
正しい生活を—

「生活態度、服装、持ち物などに  
注意」



「非行の季節」から子どもを  
守るためには、保護者は子ども  
のよき相談相手となって、家族  
全員が話し合う機会をできるだ  
け多く持ち、日ごろから相互理  
解を深める努力が大切です。  
夏休み中は、とくに次の点に  
注意してください。

### 「生活のリズムを崩さない」

祭りや盆踊り大会など夜間の  
行事が多く、夜遊びのクセがっ  
きやすくなります。  
また、昼間は暑いこともあつ  
て、生活パターンは「夜型」に  
なりがちです。

このような生活のリズムは、  
夏休みが終わってもすぐに直り  
にくく、学校きらいや家出に結  
びつき、非行化の原因となりま  
す。

そうした友だちとの付き合いを  
通して、仲間意識からくる「もた  
れ合い」のほか、好奇心も手伝っ  
て、さまざまな非行に走るケース  
が後を断ちません。

非行の芽は一刻も早くつみとる  
ことが大切ですが、そのための早  
期発見のポイントとなる目安をい  
くつかあげてみました。

■警察のことを「サツ」といった  
り、周囲にわかりにくい隠語を使  
う。あるいはことばづかいが乱暴  
になっていないか。

■家の人に行き先をいわずに外出  
したり、帰宅時間が不規則に遅く  
なったりしないか。

■以前と比べて金づかいが荒くな  
ったり、使い道をいわずづづかい  
をせびたりしないか。

■服装やヘアスタイルを必要以上  
に気にしたり、着方がくずれてい  
ないか。